

サントリー地域文化賞

「かいぼり」の生態工房

環境NPO



武蔵野市を拠点に活動している環境NPO「生態工房」（片岡友美理事長）が、地域文化の発展に貢献した個人や団体に贈られる「サントリー地域文化賞」（主催・サントリー文化財団）を受賞することになり、30日発



「かいぼりが地域文化へ貢献する活動と認められ、うれしい」と話す生態工房の片岡友美理事長。立川市で

表された。

「生態工房」は1998年に活動を開始。池の水を抜いて天日干しにする「かいぼり」を行い、外来種の魚類を駆除するなどの生態系保護活動をしている。同市の都立井の頭公園の池で、これまで3回かいぼりを実施し、ブルーギルなどの外来種をゼロにしたほか、都内や神奈川などの池で30回近く、かい

ぼりを行ってきた。同賞は79年に創設され、学識経験者などで構成する選考委員会が年に1回選出する。44回目となる今年も生態工房の他、4団体の受賞が決まった。

片岡理事長は立川市

内で記者会見し、「私たちの自然保全活動が地域文化へ貢献しているとストリートに評価されたことはうれしい」と話した。賞の贈呈式は、10月に大阪で行われる予定。

【黒川将光】